

第 103 回薬剤師国家試験過去問題集(演習型解説書)訂正表 (第 1 刷)

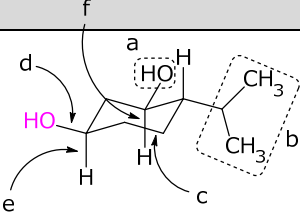
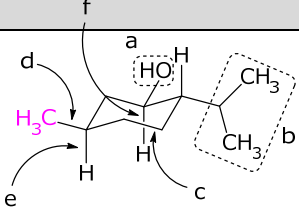
2023 年 11 月 20 日現在

誠に申し訳ございませんが、以下の箇所 of 訂正をお願い申し上げます。

◇必須問題◇

ページ	問番号	箇所	訂正前	訂正後
34	Exercise	問題文 1	② ホスホリパーゼ A	② プロテインキナーゼ A
34	Exercise	解答②	② ホスホリパーゼ A	② プロテインキナーゼ A
69	関連問題 選択肢 2	解答	×	○
93	関連問題 選択肢 2	問題文 2 行目	書く医療機関に速報	各医療機関に速報

◇理論問題◇

ページ	問番号	箇所	訂正前	訂正後
128	101	解説 構造式		
185	127	解説 4	脳血管性認知症は脳血管に ～ 高血圧の危険因子である。	高血圧は単独で脳血管疾患の危険因子となる（選択肢 3 解説参照）。しかし、本疫学研究の結果から、脳血管疾患の危険因子が高血圧になるとはいえない。
		解説 5 2 行目	アルツハイマー病の相対危険度は ～ 交絡因子となる。	しかし、高血圧がアルツハイマー病の因子とはいえない。（選択肢 2 解説参照）よって高血圧はアルツハイマー病に対する耐糖能異常を解析する上で交絡因子とはならない。
262	165	解説文 4 行目 構造 E の名称	3,4-ジヒドロキシフェニルアセトアル デヒド	3,4-ジヒドロキシフェニル酢酸
263	165	選択肢 2 解説文 2 行目	3,4-ジヒドロキシフェニルアセトアル デヒド	3,4-ジヒドロキシフェニル酢酸
279	173	解説 4 5 行目	$CL\ h = CL\ tot \times Ae$ $= CL\ tot \times (1 - Eh)$ $= 100\ (L/h) \times (1 - 0.8)$	$CL\ h = CL\ tot \times (1 - Ae)$ $= 100\ (L/h) \times (1 - 0.8)$
307	189	解説 3 行目 終わりから	褥瘡を予防するために、長期間同じ姿勢とならないよう積極的な体位変換が推奨される。また、発赤・紫斑には創面保護を目的として創傷被覆材（ドレッシング材）を用いることがある。なお、症例から本患者の栄養状態が不良とは考えにくいいため、栄養状態の改善の必要性は低いと考えられる。	本症例の褥瘡を治療するために、長期間同じ姿勢とならないよう積極的な体位変換が推奨される。また、栄養状態の低下は褥瘡を悪化させる原因となるため、栄養状態の改善が有効である。

◇実践問題◇

ページ	問番号	箇所	訂正前	訂正後
394	関連問題 3	解説	×	○
397	235	解説 2 2 行目	インフルエンザは主に空気感染する ため	インフルエンザは飛沫感染や空気 感染するため
400	237	解説 5	腎症、網膜症、神経障害の発症を 未然に防ぐ行為のため、一次予防 である。	腎症、網膜症、神経障害の進展を 防ぐ行為のため、三次予防であ る。
414	246	解説 1 1 行目	ナフトピジルは、選択的アドレナ リン $\alpha_{1A/D}$ 受容体遮断薬であり～	ナフトピジルは、選択的アドレナ リン α_{1D} 受容体遮断薬であり～
420	関連問題 9	解答	○	×
427	Exercise	作用機序・特 徴 二段目	・(③) 受容体遮断 ・副作用：(④高 or 低) K⁺血症	・(③) 阻害 ・副作用：(④)
427	Exercise	解答	③アンギオテンシン AT ₁ ④高	③HMG-CoA 還元酵素 ④横紋筋融解症
524	304	解説 5	クロルヘキシジン群の Hospital readmission (再入院) の割合は 19%、ポビドンヨード群の再入院 の割合は 25%である。	クロルヘキシジン群の Hospital readmission (再入院) の症例数 (no.) は 19 例、ポビドンヨード 群の再入院の症例数 (no.) は 25 例である。